

地下鉄駅業務委託について

仙台市交通局

1 現計画における位置づけ

第5章 戦略に基づく取組み 戦略4 持続可能な経営の確保

取組1 経営基盤の強化・経営の健全化

・交通事業の根幹である乗車料収入の確保に向けて利用促進に取り組むとともに、既存資源の有効活用等による増収や、運行の効率化等による費用の低減を図り、持続可能な財政運営に取り組めます。

(3) 費用の削減

➤ 駅業務委託の実施

民間活力の活用と経営効率化に向けて、平成27年度から地下鉄駅の管理業務委託の民間委託を開始しています。令和2年度時点で、南北線10駅、東西線10駅を委託しています。

応募事業者について専門的見地から評価を行い、受託事業者の適切な選定を行うことで、サービス水準を確保しつつ、経費の削減を図ります。

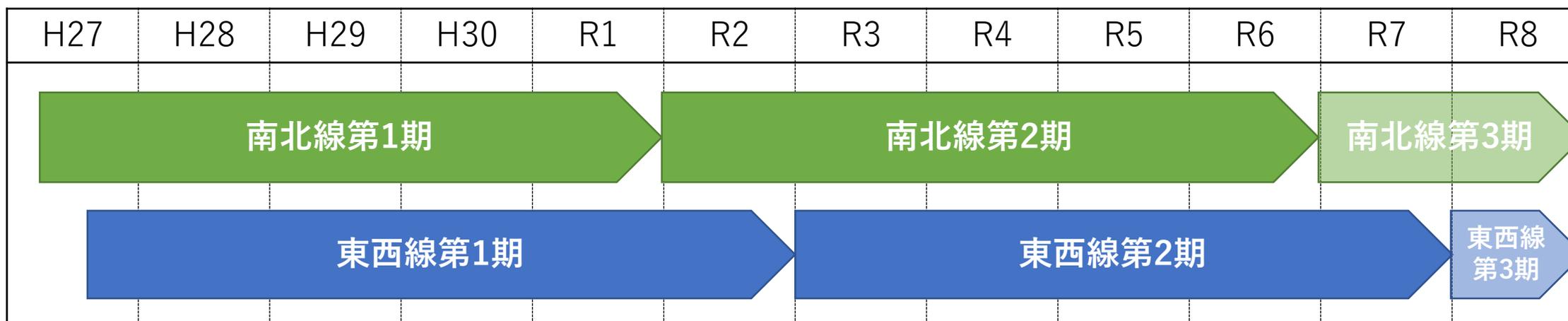
経営の更なる効率化を目指し、委託する駅の追加を検討します。

2 駅業務委託の概要

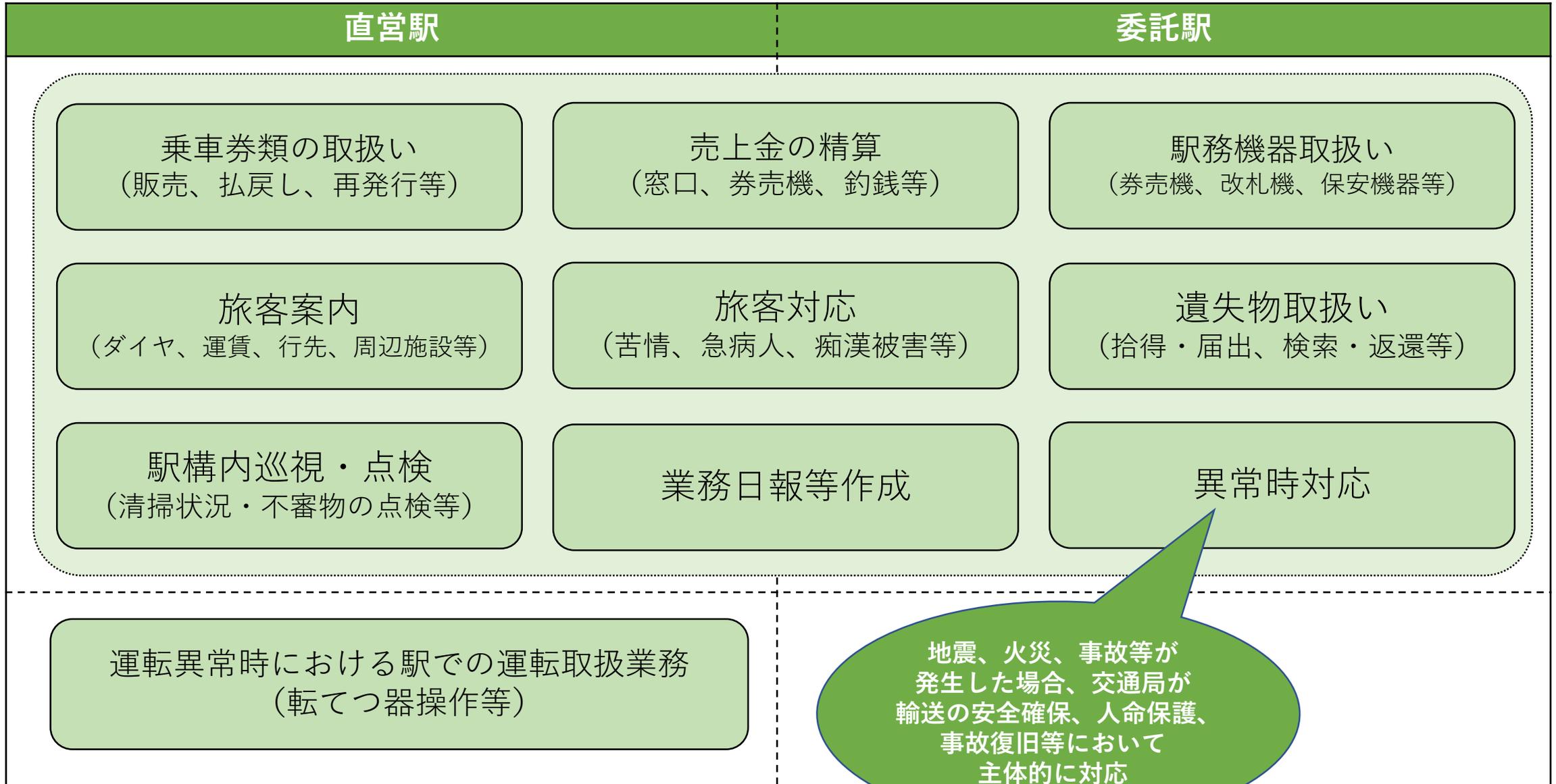
| 委託駅 | | 契約期間（第2期） | 委託事業者 |
|------------------|--|------------------------|------------|
| 南北線 (17駅中10駅) | 黒松、旭ヶ丘、台原、北仙台、北四番丁、五橋、愛宕橋、河原町、長町一丁目、長町 | 令和2年4月1日～ 令和7年3月31日 | (株)セノン |
| 東西線 (13駅中10駅) | 青葉山、川内、国際センター、大町西公園、青葉通一番町、宮城野通、連坊、薬師堂、卸町、六丁の目 | 令和3年4月1日～ 令和8年3月31日 | ALSOK宮城(株) |

※直営駅：南北線 泉中央、八乙女、勾当台公園、広瀬通、仙台、長町南、富沢
 東西線 八木山動物公園駅、仙台、荒井

(参考) 委託期間



3 駅務員の業務内容



4 駅業務委託のサービス水準の確保

- ・委託業者のサービス水準の確保については、駅業務委託に関する履行状況調査を年1回実施し確認を行っている。これまで、全ての年度において特に問題となるような事項は発生していない。
- ・また、直営の駅務助役が毎日委託駅を巡回し状況確認に努めているほか、局の管区駅長と委託事業者の駅務長が集まり年6回開催するワーキングや日常的な朝礼、イベント時などにおいても意見交換を重ねている。
- ・この他、事業者からの提案を受け、直営駅も含めた全駅で下記サービスを実施。

| | 提案事項 | 実績等 | 評価等 |
|------------|--------------------------------|--|-------------------------------|
| レンタル傘サービス | 駅務係員に申し出のあったお客様に対して、傘の貸し出しを行う。 | 南北線で平成27年10月より実施。平成28年4月より全駅に拡大。 | 忘れ物の傘を有効活用し、お客様サービスの向上が図られた。 |
| タブレット端末の活用 | iPadによるお客様へのリアルタイムな情報提供を行う。 | 平成28年4月より実施。情報提供のほか、異常時における職員間の情報共有にも活用している。 | 翻訳、筆談等の機能により、お客様サービスの向上が図られた。 |

5 駅業務委託による経費削減効果

(単位：百万円)

| | 第1期 | 第2期 |
|---------------------|-------|-----|
| 効果額（直営－委託(決算(見込)額)） | 1,106 | 991 |

※ 効果額は直営で運営した場合のモデル人件費から決算額（第2期決算見込額）を差し引いて算出。

※ 第2期の効果額算定において、南北線の令和5～6年度の決算見込額及び東西線の令和5～7年度の決算見込額はそれぞれ令和4年度の決算額とした。

⇒ 第1期では駅業務委託により約5年間（東西線は約6年間）で約1,106百万円の経費削減効果。

第2期では駅業務委託により5年間で約991百万円の経費削減効果見込。

6 業務委託駅の拡大

(1) 基本的な考え方

乗車人員が最も多く南北線と東西線が交わる仙台駅や、異常運転時に転てつ器の操作等の運転取扱業務が生じる可能性の高い端末駅以外の駅については、委託拡大の可能性について検討を行う。

(2) 委託による効果額（想定）

5年間で1駅あたり約22百万円の削減効果が見込まれる。